

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県公立豊岡病院組合 公立豊岡病院日高医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	8	-	ト透訓	-
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	11,368	第2種該当	-	10:1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
63	36	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	99
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
44	-	44

グラフ凡例

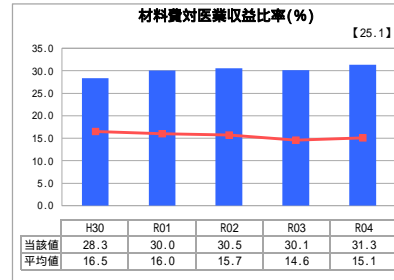
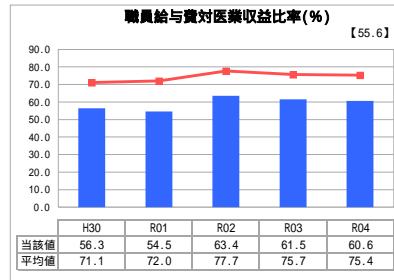
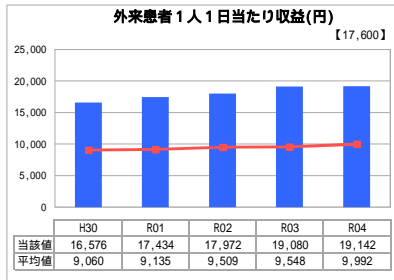
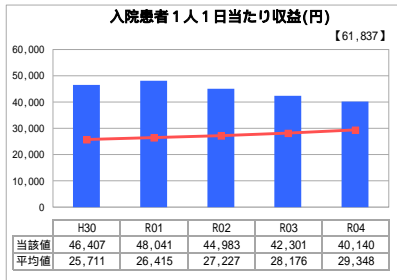
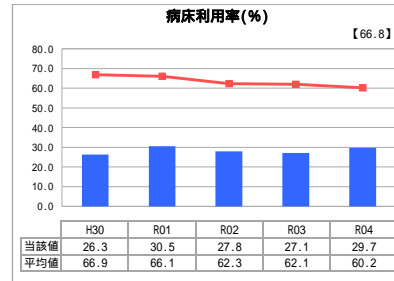
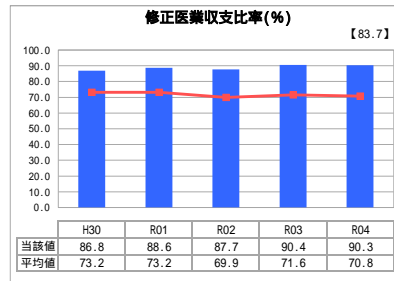
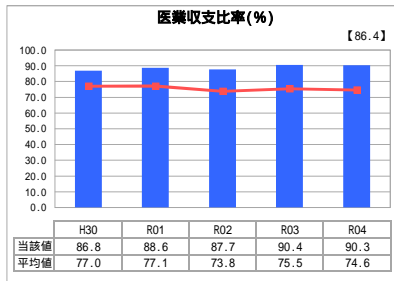
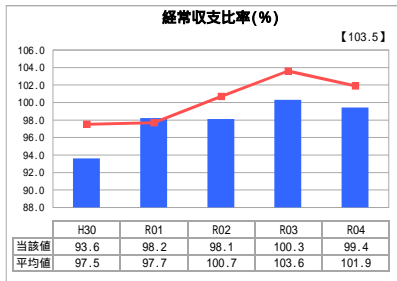
当該病院値(当該値)

類似病院平均値(平均値)

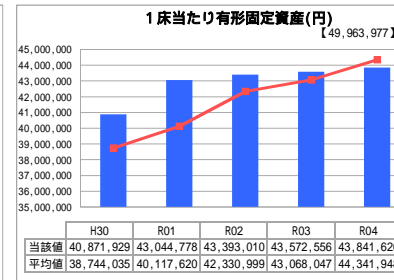
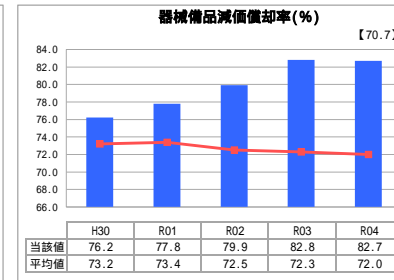
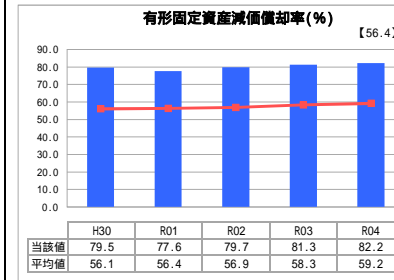
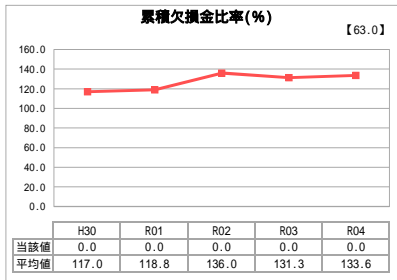
【】 令和4年度全国平均

- ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
- 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の縦割・ネットワーク化を重視)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

地域において担っている役割

旧日高町エリアを中心に地域医療を担っている。透析センターを併設しており、但馬圏域の透析医療の中核施設として多数の患者を受け入れている。平成30年に開設した訪問看護ステーションでは、地域包括ケアシステムの医療拠点として、地域の診療所や介護事業者と連携し、訪問看護、訪問リハビリテーション等の各種サービスを提供している。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者数の減少に伴う収益減、施設の老朽化による経費の増等により収支は悪化しているが、眼科・透析等の収益性が高い診療科を有しているため診療単価()は平均値を上回っている。医師数の減により入院・外来ともに患者数が減少しており、病床利用率()は平均値を下回っている。主たる収入源である眼科と透析が、医師1人当たりの収益率が高い一方、薬品等の材料を多数消費する診療科であるため、給与費比率()は平均値よりも低く、材料費比率()は高くなっている。

2. 老朽化の状況について

本館(昭和41年築)、新館(昭和51年築)が耐震基準を満たしておらず、耐震工事の必要性があると診断された。これを受けて平成29年に策定した「日高医療センター整備基本計画」(令和5年「修正版」策定)に沿った耐震改修、本館立替工事を進めている。

全体総括

大学医局から新たな医師の派遣が各診療科で順次打ち切れ、退職医師の補充が困難になった。主に豊岡病院からの応援で医師不足を補っていたが、患者数を回復することはできず、平成29年に病床規模を縮小し医療資源の集約化を進めるとともに、地域の医療需要を踏まえて訪問看護ステーションの整備(H30)、地域包括ケア病床の導入(R1)等、医療機能の再編を図り収支均衡を目指している。眼科機能の豊岡病院移転(R5)を契機として、更なる病床数の見直しを図り、令和6年度より有床診療所へ機能転換する予定である。

「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。